

平成26年(ワ)第29256号 損害賠償請求事件

原告 阿部宜男

被告 松崎 参

証 拠 説 明 書 (1 4)

平成29年9月12日

東京地方裁判所民事第37部合議A係 御中

原告訴訟代理人弁護士

小川 隆太郎



同

小田川 綾音



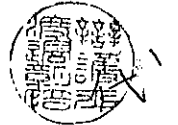
同

高井 信也



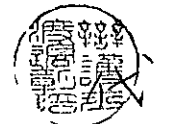
同

中島 広勝



同

永里 桂太郎



同

細 川 潔



同

本田 麻奈弥



同

山下 優子



同

渡邊 彰悟



原告訴訟復代理人弁護士

石 原 敬之



甲	標 目	原/ 写	作成 年月日	作成者	立 証 趣 旨
196	NEDO 国立 研究開発法人 新エネルギー ・産業技術 総合開発機構 「成果報告書 詳細」	写	2016 年 7 月	国立研究 開発法人 新エネ ルギー ・産業 技術 総合 開発 機構	岩村氏らの研究の報告であり、末 尾に「成果報告書データベース（ユー ザ登録必須）から、ダウンロードし てください。」とあること。
197	中間報告	写	同上	担当：国 立大学 法人東 北大学 ，外	『実施した試験によって得られた発 熱量のデータについて全メンバーで 評価・解析を行った。この結果、通 常の化学反応によって発生する熱量 を超える熱「過剰熱」の存在を確認 した』とされていること。
198	国際会議 ICCF20 での 報告	写	2016 年 10 月	北村晃 (株)テ クノバ)、 土屋賢一 (東京 高専)	岩村氏の発表は「テクノバ-神戸大 の実験結果を完全に定量的に再現す るものであった。これにより同方法 の信頼性が格段に向上したものだ と思われ」等とされ、再現性の確認 が高まってきたことを示してい る。
199	パリティ Vol.32 No.05 「凝縮系核反 応の現状と今 後の発展」	原	2017 年 5 月	岩村康弘	凝縮系核反応と従来の核反応の比較 を論じており、その再現性の向上に ついて論じているものである。

以上